

# インテリア計画

教科	工業	単位数	2	学科・学年	(選) 建設工学科建築類型3年生	担当	建設工学職員
使用教科書	「インテリア計画」(文部科学省)			副教材等	ビデオ、プリント、電卓		

## ◇ 学習の到達目標 ◇

インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を育成します。

## ◇ 科目の特色 ◇

「インテリア計画」は、建築の構造を理解した上で、インテリアを構成する部位やエレメントの材料・構造・施工にかかわる知識と技術を総合的に学習し、室内空間を構成する能力と態度などを身に付ける科目です。

## ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4   6	第1章 インテリア計画の概要 第2章 インテリアの造形と心理	・インテリア計画の意義、計画の手順、生活と住まい、住まいの安全と快適性、高齢者への対応などインテリア計画の概要に関する基礎的なことを学習する。【前期中間考査】
7   9	第4章 インテリアと人間工学 第5章 寸法計画と規模計画	・人体と人体寸法、姿勢及びインテリアと住空間について、インテリアと人間工学に関する基礎的な知識と技術について学習する。 ・空間の目的と規模、モジュラーコーディネーション及び寸法計画について、建築計画と規模計画に関する基礎的な知識と技術を学習する。【前期期末考査】
10   12	第6章 インテリアエレメント	・インテリアエレメントの計画に関する基礎的な知識と技術について学習する。【後期中間考査】
1   2	第7章 各種空間の計画	・各種空間の計画に関する基礎的な知識と技術を総合的に学習する。 ・室の設計とインテリアコーディネート ・作品制作【後期期末考査】

## ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	インテリア計画に関する基礎的な知識と技術について興味・関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組む実践的な態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	豊かなインテリア空間を合理的に計画し、設計するため、インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を活用し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。
技能	インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を身に付け、発展的に創意工夫してインテリア空間のあり方、構成する各要素、特徴等を言語や文、図などで具体的に表現する能力を身に付けているか。
知識・理解	インテリア計画に関する基礎的な知識と技術を身に付け、産業社会及び生活・文化におけるインテリア技術の意義や役割を理解しているか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| ①授業で活用するノート、レポート、プリント等の提出物 | ②授業中における学習態度 |
| ③自己評価、授業評価のさいに記入したプリント     | ④定期考査        |
| ⑤自己作品                      |              |

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決定します。

## ◇ 担当者からのメッセージ ◇

1・2年次に学んだ「建築計画」をもとに、「インテリア計画」を学びます。授業は講義ばかりでなく、実習を多く取り入れています。インテリアセンスを養いましょう。